

スマートフォン/タブレット市場の 中期予測について

2012年5月30日

モバイルソリューションを推進する



モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

1997年 移動体通信会社、ハードメーカ、ソフトメーカ、システム インテグレータによる市場形成と拡大を目的に設立

幹事会員:13社





























正会員:57社

賛助会員∶66

ベンチャー会員:17社

相互協力会員 :17団体

合計170社 (2012年5月現在)

スマートモバイル活用委員会 (2012年4月~)

(2012年3月にスマートフォン推進委員会とモバイル活用委員会を統合)

メンバー

委員長:KDDI

副委員長:ソフトバンクモバイル、マイクロソフト、NTTドコモ、カシオ計算機、富士ソフトシャープ、日立製作所、NECカシオモバイルコミュニケーションズ、富士通、インテル、トレンドマイクロ、マカフィー、ユニアデックス、リコー、シーイーシー、ジャパン21、クレオソリューション、NTTソフトウェア、KCCSモバイルエンジニアリング、アイコン、エス・ケイ、ベーステクノロジー、三菱総合研究所、その他 合計26社

主な成果

2012年4月 「スマートフォンをビジネスでセキュアに使うために」発表 (技術委員会アプリケーションワーキンググループ 企画・編集) 2012年4月 「スマートフォンが拓〈未来と導入の手引き」発表 2010年11月 「スマートフォン/タブレットPC市場の中期予測」発表 2010年07月 「スマートフォン導入構築ガイド」第2版発表 2010年03月 「スマートフォン導入構築ガイド」発表 2009年03月 「スマートフォン市場の中期予測」発表

スマートフォンって何?

「仕様が公開された汎用的なOSを搭載し、利用者が自由にアプリケーションを追加して機能拡張やカスタマイズができる携帯電話およびPHS」

·汎用的なオペレーティングシステム(OS)

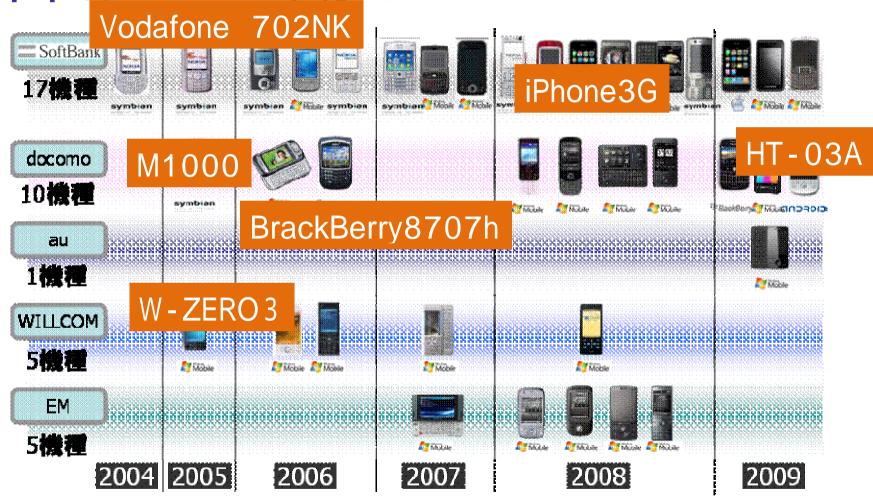
Windows Phone(マイクロソフト), iOS(アップル),
Android (グーグル),BlackBerry OS(リサーチインモーション),
Symbian OS (ノキア),bada[バダ](サムスン)

個人ユーザーは、パソコンのようにブラウザやメール さらに自分の好みに合わせてアプリケーションの追加が!

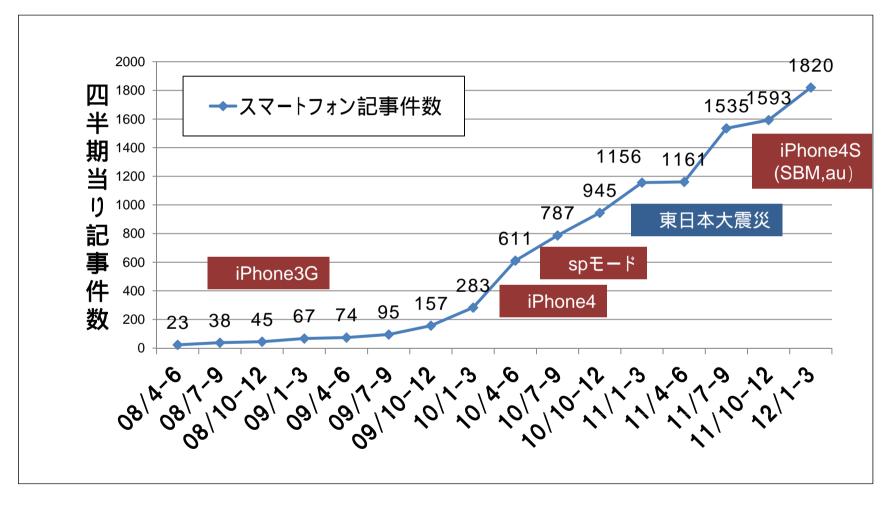


企業ユーザは、自社の業務に合わせたソリューション開発を!

日本は2004年から



記事件数は4年前の約80倍



出所:日経本紙、日経産業、日経MJに掲載された記事件数

注目されている背景

誰でもアプリケー ションを自由に 開発可能 アプリはグローバ ルに流通される ので、海外展開 も容易

数十万本の多種 多様なアプリを、 安価に利用可能

電気自動車、家 電等の機器を遠 隔監視する端末 日本企業はスマートフォンの部品の供給基地

スマホの急速な 普及で電波不足 が問題化

MCPCとインプレスR&D共同調査

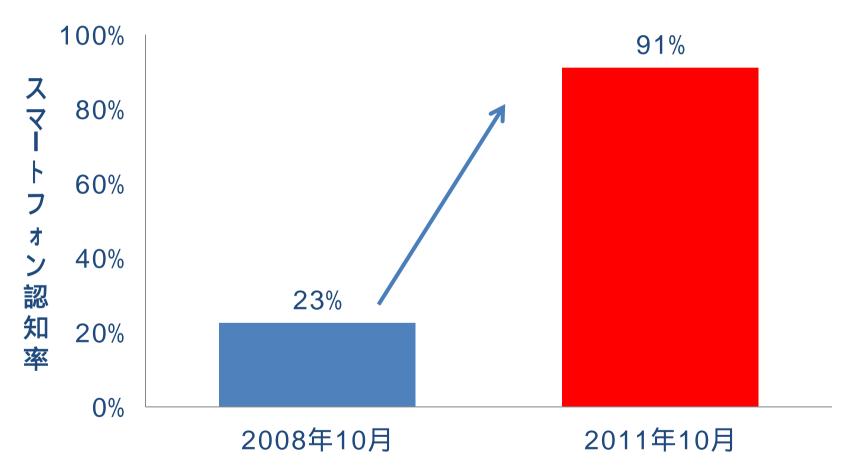
	個人向け	企業向け	
調査方法	Webアンケート調査		
調査時期	2011年10月12~14日	2011年9月16~20日	
対象者	個人 (人口分布で割付)	企業の情報化担当者 (従業員規模に応じて 割付)	
回収数	3,304	1,647	
標本抽出方法	Webアンケート調査会社のモニター登録会員を 対象に予備調査を実施し、その回答結果から対 象者を無作為抽出		
実施体制	MCPCとインプレスR&D共同実施		

smart.ilphone



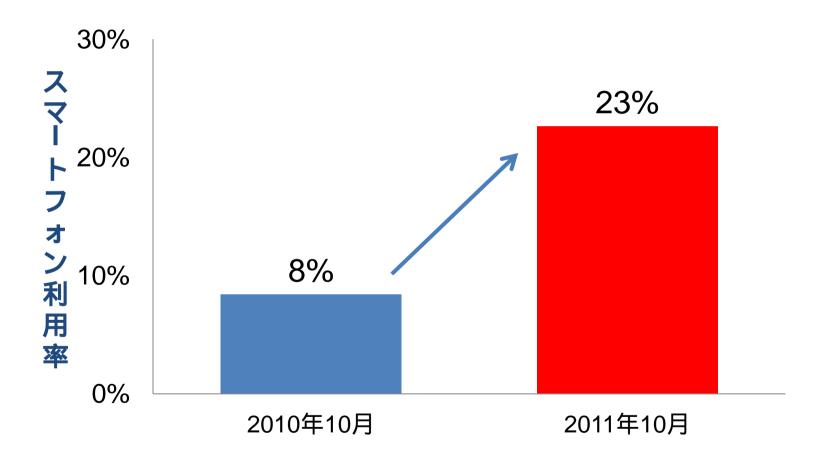
Copyright © Mobile Computing Promotion Consortium. Smart Phone Promotion Committee. All rights reserved.

スマートフォンを91%が認知



出所:MCPC&インプレスR&D共同調査

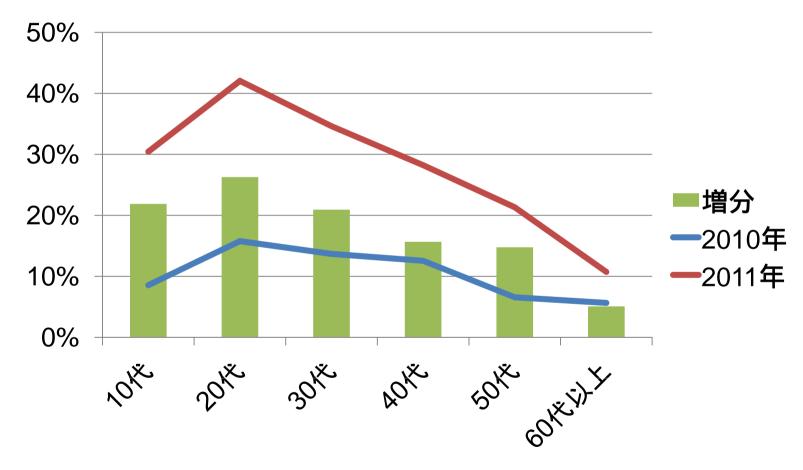
スマートフォンを4人に1人は利用



出所:MCPC&インプレスR&D共同調査

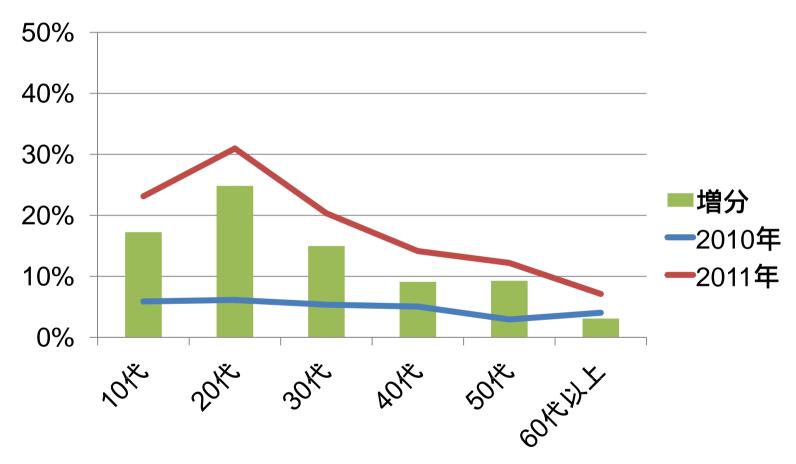
男性はほぼ全年代で利用拡大

スマートフォン利用率(男性)



女性は10~30代を中心に利用拡大

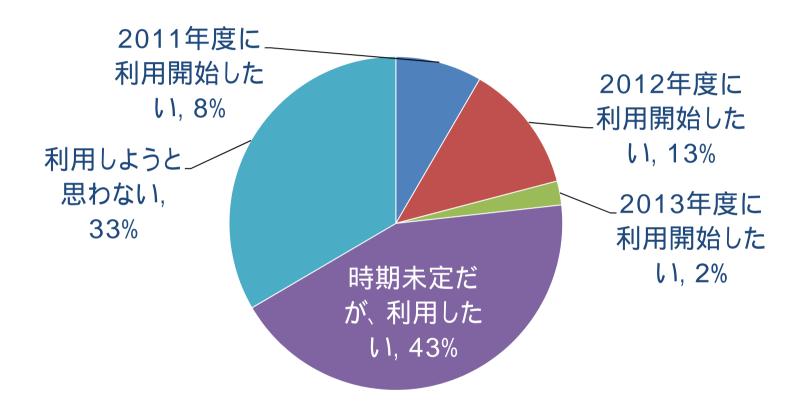
スマートフォン利用率(女性)



スマートフォン急成長の5つの背景

- 1 タッチパネルの使い易さ
- 2 WEBブラウジングの良さ
- 3 豊富なアプリケーション
- 4 クラウドサービスの拡大
- 5 ドコモ、auの対応本格化

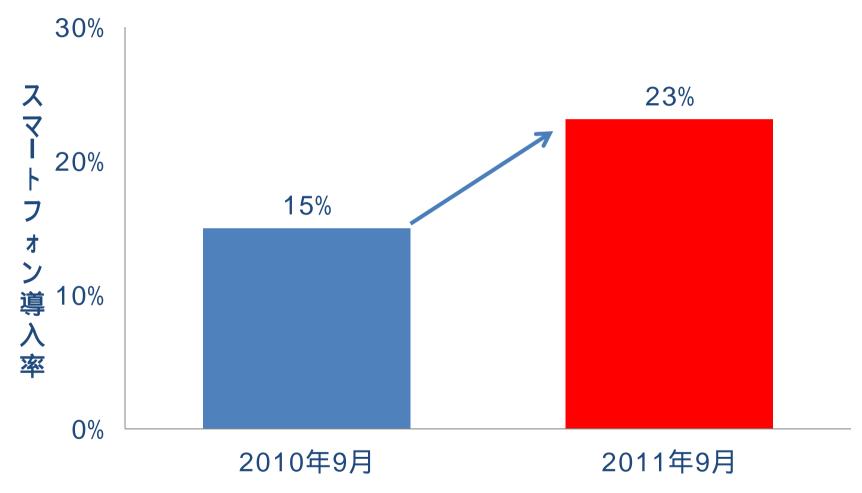
スマートフォン未利用者の2/3は利用意向有り スマートフォン利用意向(個人・未利用者)





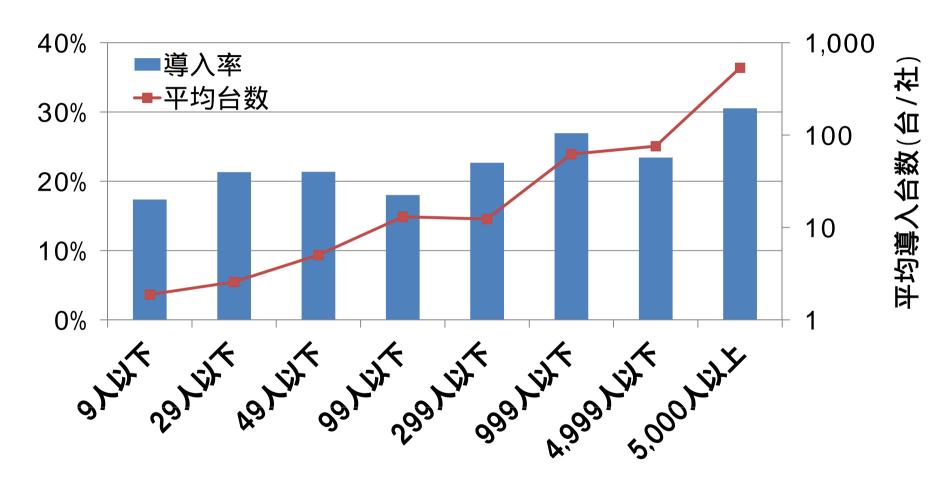
Copyright © Mobile Computing Promotion Consortium. Smart Phone Promotion Committee. All rights reserved.

スマートフォンを4社に1社は導入

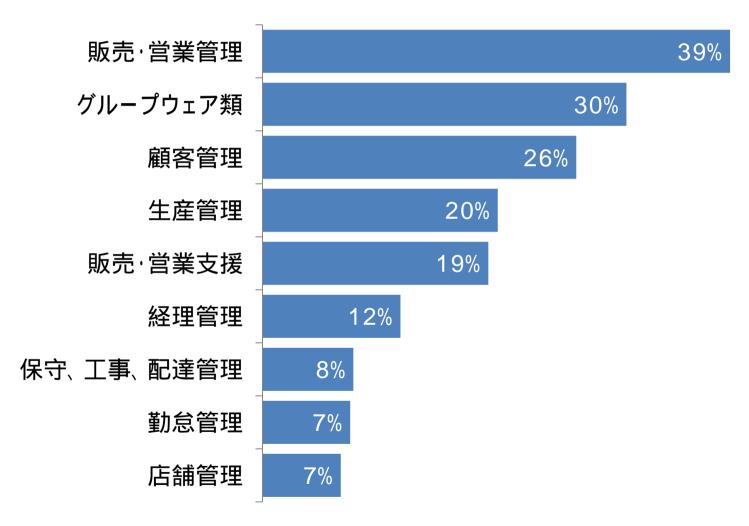


出所:MCPC&インプレスR&D共同調査

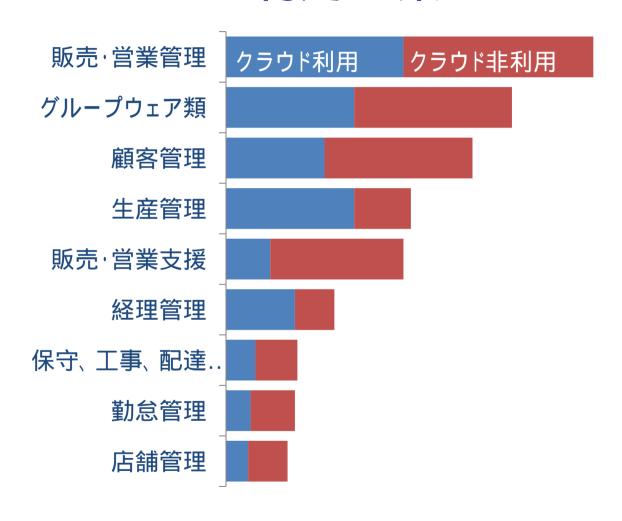
大企業だけでなく中小企業でも導入



適用業務は、販売管理、グループウェア



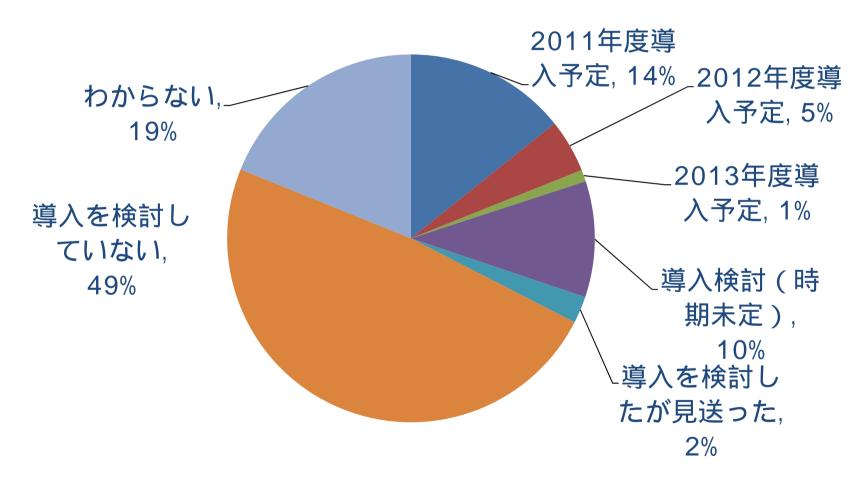
スマートフォン利用企業の57%はクラウド利用



スマートフォン活用事例(MCPC award 2012 より)

企業名	業種	活用分野
株式会社デンソー	自動車部品 製造	カーナビの地図操作や目的地設定
AIU保険株式会社	保険業	地震保険、家財保険の保険金支払の為の損害調査支援
神戸松陰女子学院大学	大学	英語学習や学生生活を支援
株式会社みずほ銀行	金融業	AR(拡張現実)を利用し、店舗/ATMまで 誘導
富士フィルム株式会社	製造業	脳卒中の迅速な診断や治療を支援
株式会社ユナイテッド・インテ リジェンス	教育	大学受験学習用コンテンツ(動画、PDF)を配信
株式会社カーセブンディベ ロップメント	自動車の買 取・販売業	自動車の買取・下取時の査定支援
日本航空株式会社	運輸・通信 業	空港内で現在地から利用する搭乗口まで 案内する(ARも利用)

スマートフォン導入意向予定あり-30%

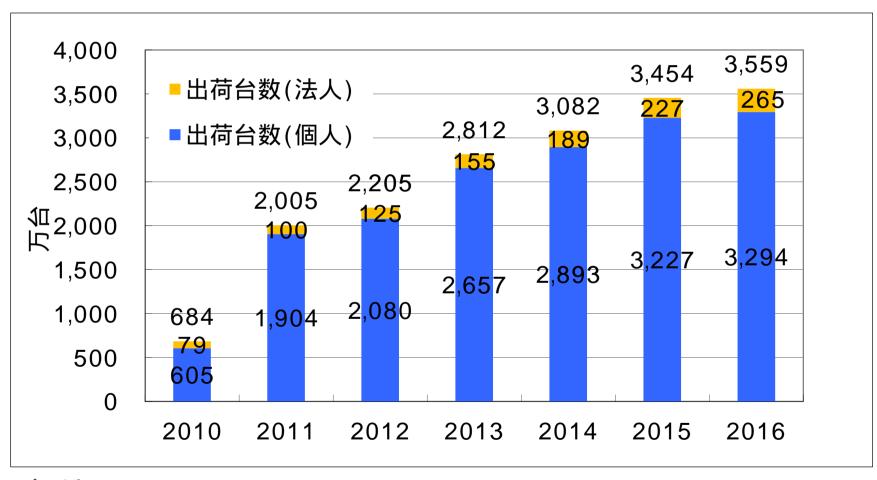


smart.ilphone



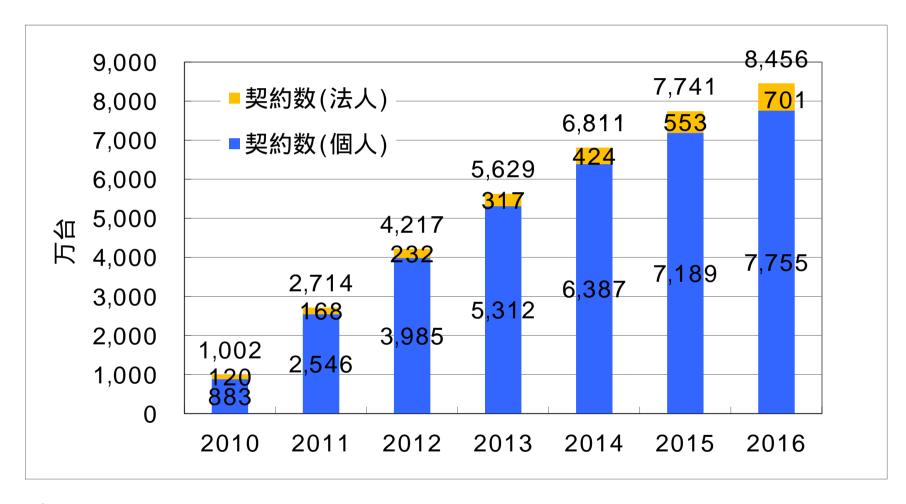
Copyright © Mobile Computing Promotion Consortium. Smart Phone Promotion Committee. All rights reserved.

スマートフォン出荷台数は2011年度2005万台



出所:MCPC

スマートフォン契約数は2016年度に8,456万へ



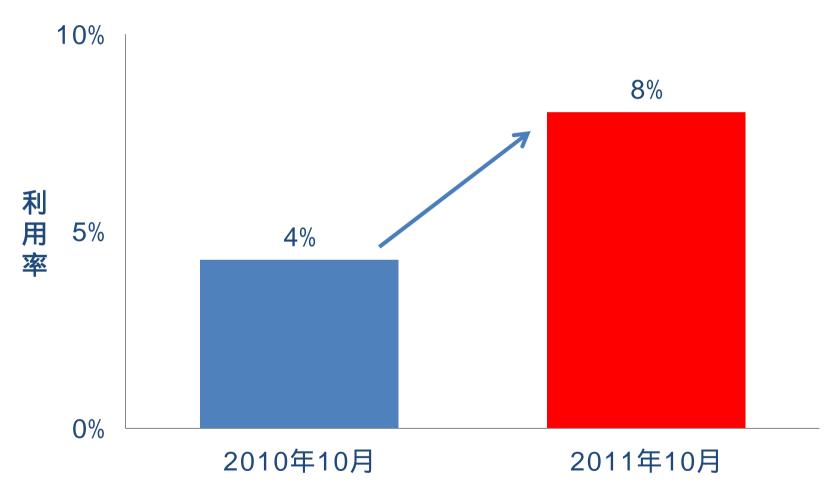
出所:MCPC

smart.ilphone

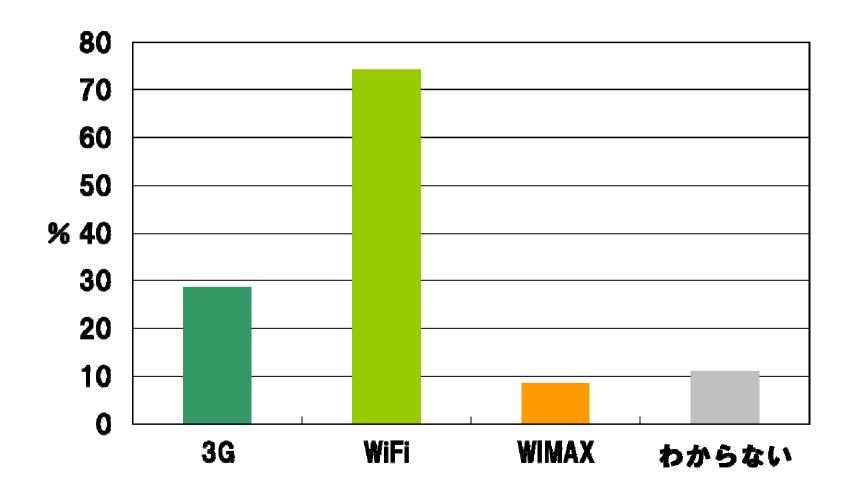


Copyright © Mobile Computing Promotion Consortium. Smart Phone Promotion Committee. All rights reserved.

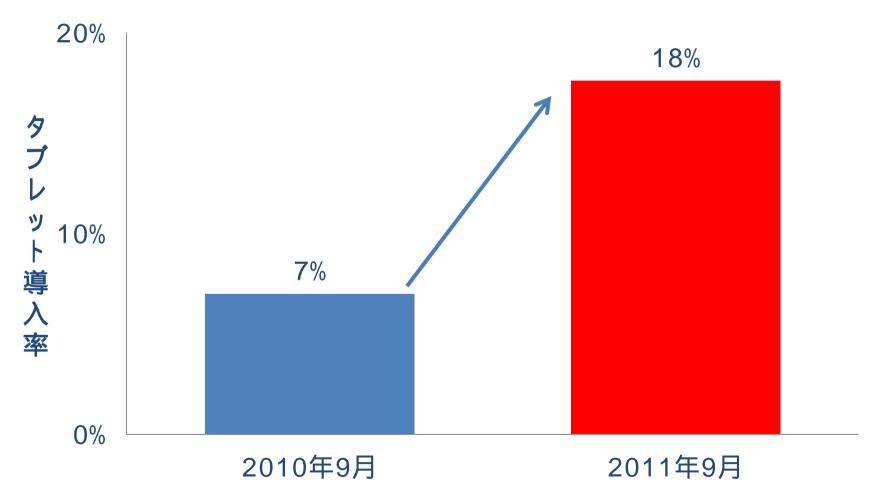
タブレットの個人利用率は倍増



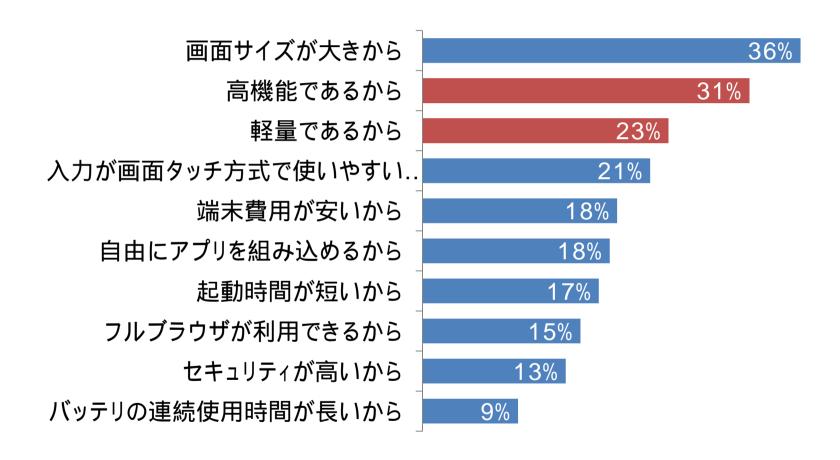
タブレットの個人利用では3 Gが29%



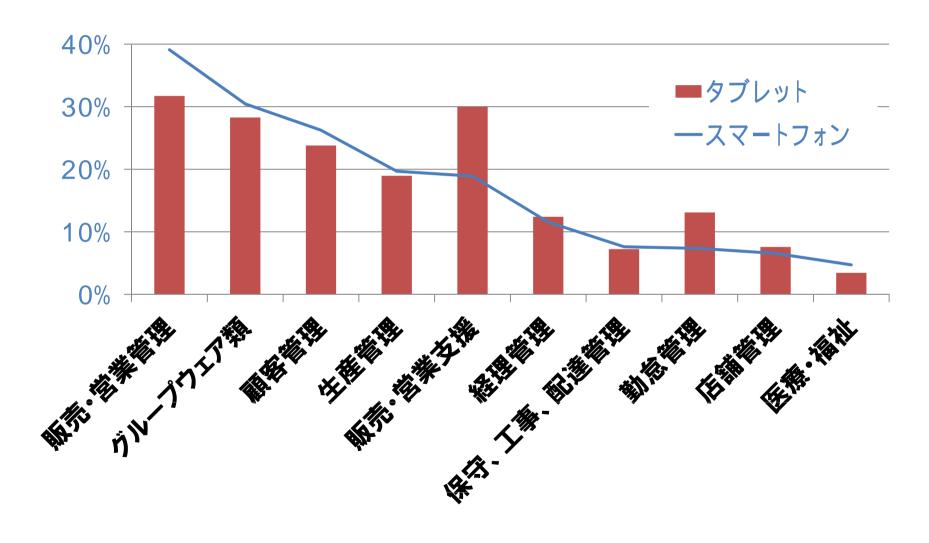
タブレットの導入企業は2.5倍



企業は昨年度に比べ機能・軽量を評価



タブレットは販売・営業支援・商品説明に



タブレット活用事例(MCPC award 2012より)

企業名	業種	活用分野
佐賀県	自治体	救急患者の受入可能性を病院と救急隊 が情報共有し、早期に病院へ搬送
習志野台整形外科病院	病院	CG動画による説明、問診票の事前入力で 患者参加型医療の支援
東北大学	大学	東日本大震災で被災した建物の悉皆調 査を支援
高知医療再生機構	医療	位置伝送、患者情報共有による救急医療支援
日本化薬メディカルケア株式 会社	介護	在宅療養·介護患者の医療·生活支援·介 護の情報共有
凸版印刷株式会社	製造業	タブレット端末上を会議資料を閲覧するペーパーレス会議
株式会社プレミアネットワーク	ロードサービ ス	ロードサービスの自動手配
北陸銀行	金融業	ペーパーレス化し、外訪時の金融商品営業支援、提案力強化

タブレット業務利用拡大の6つの背景

- 1 見やすい
- 2 入力が容易
- 3 起動が早い
- 4 持ち運びに便利(軽い、大きさ)
- 5 アプリが自由に作成可能
- 6 ペーパーレス・個人情報保護

タブレット販売台数は2011年度260万台



出所:MCPC

最後に

スマートフォンが拓く未来と導入手引き 2012年版



主な内容

- ●スマートフォンが拓く未来
- ●スマートフォンの業務活用
- ●システム導入のステップ



ご清聴ありがとうございました